

## 4. 研 究

---

Research



## 研究全般における取組

平成29年度は、「大学COC事業」の成果目標である、共同出願特許件数の増加やベンチャーの創出等につなげることを目的とし、「青森ブランド価値創造研究」、「弘前大学機関研究(地域志向)」、「弘前大学若手機関研究(地域志向)」、「弘前大学若手・新任研究者支援事業(地域志向)」、「起業家育成事業」を実施した。

### 【1】 青森ブランド価値創造研究

#### 1. 青森ブランド価値創造研究の実施

平成26年度「地(知)の拠点整備事業」の一環として、人口減少等の地域課題を克服し、「青森ブランド」価値の創造を目指す青森県及び弘前市と協働し、青森県を愛する気持ちを礎として新しい未来を切り開くために、青森県における地域の課題を解決するための研究活動を助成する「青森ブランド価値創造研究」を設けた。

平成29年度の学内公募では2件の申請があり、審査委員会の審査により2件を採択し、地域志向研究を推進した。

研究成果の情報発信として、平成30年3月1日(木)に平成29年度採択課題2件を対象として研究成果発表会を実施した。

#### 2. 平成29年度 青森ブランド価値創造研究 採択課題一覧

No.	部局名	職名	申請者氏名	事業名
1	人文社会科学部	教授	李 永俊	低・未利用水産資源であるムラサキイガイ活用法の開発とブランド化
2	農学生命科学部	教授	殿内 暁夫	地域の微生物を活用した弘前大学ブランドの創造



青森ブランド価値創造研究発表会(森教授)



青森ブランド価値創造研究発表会(殿内教授)

## 【2】 学内助成事業

### 1. 「弘前大学機関研究・若手機関研究」及び「弘前大学若手・新任研究者支援事業」における「地域志向」枠の実施

平成26年度より、学内の助成事業である「機関研究・若手機関研究」（本学の看板となる研究の支援）及び「若手・新任研究者支援事業」（若手・新任研究者を対象とした研究支援）に、青森県における地域課題（人口減少、食、健康等）を解決するための研究である「地域志向」枠を設けた。

平成29年度においては、「地域志向」枠として「機関研究・若手機関研究」の継続課題3件の支援を行い、また「若手・新任研究者支援事業」では7件を新規採択し、学内資金においても地域志向研究を推進した。

「機関研究・若手機関研究」の研究成果については、3年間の研究期間の最終年度となった採択課題に関して、平成30年2月6日（火）に弘前大学創立50周年記念会館において成果発表を行った。

平成30年3月1日（木）には、弘前大学大学会館において、若手・新任研究者支援事業の採択者によるプレゼンテーション並びにパネル展示等による成果発表会を実施し、学内研究者、COC+事業協働機関、報道関係者等約200名の参加があり、多くの参加者に本学の研究成果を公表した。

また成果発表会では、研究者同士や研究者と企業とのマッチングタイムを設け、研究の異分野連携やイノベーション創出に向けた情報交換等を行った。

### 2. 平成29年度 機関研究・若手機関研究(地域志向型研究) 成果発表会



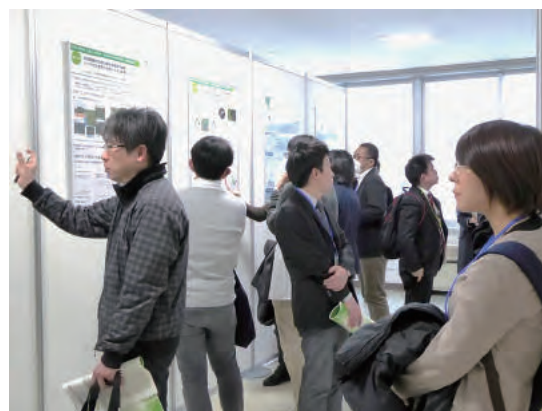
機関研究成果発表会(笹川教授)

## 3. 平成29年度 若手・新任研究者支援事業(地域志向型研究) 採択課題一覧

No	部局名	職名	申請者氏名	事業名
1	教育学部	准教授	増田 貴人	バルシューレプログラムを援用した発達性協調運動症児への身体活動支援法の開発
2	保健学研究科	講師	小枝 周平	青森県内の発達障がい児の運動に対する支援の必要性およびニーズに関する調査
3	農学生命科学部	准教授	濱田 茂樹	地域オリジナル品種の開発を目指した新規糖質米の品質解析
4	地域社会研究科	准教授	平井 太郎	地域おこし協力隊インパクト測定全国調査
5	北日本新エネルギー研究所	准教授	井岡 聖一郎	浅瀬石川扇状地上流部におけるOpen方式地中熱利用ポテンシャル評価
6	被ばく医療総合研究所	助教	岩岡 和輝	地域の緊急時被ばく線量評価体制の機能強化 －原子力施設を有する青森県の安全安心のために
7	医学部附属病院	助教	菊池 英純	腸内環境に対するtryptanthrinの作用



若手・新任研究者支援事業(発表者)



若手・新任研究者支援事業(マッチングタイム)

### 【3】 起業家育成事業の実施

#### 1. レンタルオフィスの貸与

平成27年度より、起業家を目指す本学の学生・大学院生を対象に、起業家育成の環境整備の観点から、コラボ弘大内にレンタルオフィスを整備し、無償貸与する事業を実施した。

これまで、4グループ(平成27年度：1グループ、平成28年度：3グループ)がレンタルオフィスを使用し、平成29年度では新たに2グループへ無償貸与することが決定し、起業に向けた準備を進めている。

#### 2. 起業家塾の実施

本学では、平成27年度からレンタルオフィス等のインフラを活用し、学生や研究者を対象に、実際の起業家等による講演及びワークショップを中心とした起業家育成プログラムを実施することで、起業への意識醸成を図り、起業(VB)の促進、研究シーズを活用した起業家の育成及びイノベーションの創出を目的とした「弘前大学起業家塾」を開催している。

平成29年度は、「食料資源、食料生産、農、食、食品、機能性」等のアグリ関連をキーワードとして、第1回目から第5回目までは外部講師及び起業家を招聘し講演を開催し、最終回となる第6回目はビジネスプランの発表・検討会を行い、全ての発表者にとっては総じて高評価を得ることとなり、そのうち優秀者2名を選出した。

全プログラムにおいては学生・学外経営者らによる延べ54名の参加があり、起業家精神の醸成や起業をする際の考え方、起業のヒント等を得ることができ、今後の本学におけるベンチャー企業の立ち上げやイノベーションの創出につながるものとなった。

#### 3. 平成29年度 起業家塾 開催一覧

回	日時	演題	所属	講師	参加人数
第1回	11月8日 18:30~20:00	「食ビジネスの概略」			12人
第2回	11月15日 18:30~20:00	「商品開発のポイント」	ケイ・シグナル 代表 青森県よろず支援拠点チーフコーディネーター	加藤 哲也	8人
第3回	11月24日 18:30~20:00	「機能性食品の開発、起業ブランドづくり」			9人
第4回	12月6日 18:30~20:00	「事例紹介」	株式会社ラビブレ 代表取締役	三浦 和英	8人
		「原価計算と値段の付け方、ビジネスプラン作成」	ケイ・シグナル 代表 青森県よろず支援拠点チーフコーディネーター	加藤 哲也	
第5回	12月13日 18:30~20:00	「品質管理、ビジネスプラン作成」	ケイ・シグナル 代表 青森県よろず支援拠点チーフコーディネーター	加藤 哲也	9人
第6回	12月21日 18:30~20:00	ビジネスプラン検討会 審査・表彰式・講評	ケイ・シグナル 代表 青森県よろず支援拠点チーフコーディネーター 加藤 哲也 弘前大学 人文社会科学部教授 森 樹男 COI研究推進機構URA 工藤 重光 研究推進部長 亀谷 禎清		8人

## 4. 平成29年度 起業家塾 ビジネスプラン検討会優秀賞 受賞者一覧

所属	事業名/概要
農学生命科学部	SYOKKAN/食感の良い青森県産食材を用いたビジネス
農学生命科学部	白神の青いチーズ/白神乳酸菌を用いた乳製品ビジネス





文部科学省

# 地(知)の拠点